

望月とおる市議会だより

望月とおる市議会だより
 第7号
 令和2年12月29日発行
 編集・発行者
 市議会議員
 望月徹事務所
 〒421-3303
 富士市南松野 2011-5

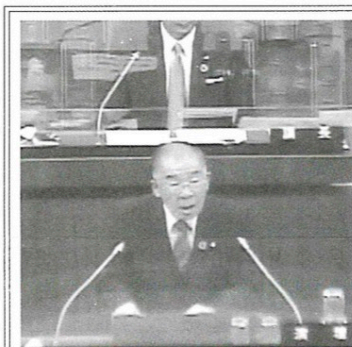
本事業においては、補正予算を議員として賛成しており、結果について責任を感じるものではありません。
 第一回質問全文

富士市電子プレミアム付商品券 すべての人に喜んでもらえる施策を

約88%の販売実績とされており、多くの市民が恩恵を受けている一方で、不満を抱えている市民もいます。

本市は、市内における消費喚起や市内店舗の売上向上、さらには市民及び事業者のキャッシュレス社会への対応を進めるため、全市民を対象として、「富士市電子プレミアム付商品券」(富士ペイ)の販売を10月1日から開始しました。11月20日締め切りで、約88%の販売実績とされており、多くの市民が恩恵を受けている一方で、不満を抱えている市民もいます。

主な理由は、
 ① 小さな地区の住民を対象とした小規模な食品店等は従来からスマホ・タブレットを利用していないため、タブレットを貸し出すことは聞いたが、面倒に思い、加盟店に応募しなかった。
 ② 地域に商品券を使用できる店が少なく、購入しても消費できないような取り組み方をされる予定ではないかと心配している。
 ③ 近隣自治体に比べ、メリット感が小さい。
 ④ 今後の地域通貨の導入についてどのような検討をされているのか、当局の見解をお伺いします。



録画中継
 「富士市議会、本会議録画映像」
 令和2年11月定例会、12月4日望月徹で配信されています。是非ご覧下さい。

祈り

本年は新型コロナウイルス感染症により世界が大きく変化し、誰もが行動を制限され、小さなお店から大企業まで厳しい状況にあります。令和三年は、ワクチンなどの開発により、コロナ後となりますことを祈っています。

令和2年11月定例会 一般質問 発言順	
遠藤 盛正	1. 福祉施設のための新型コロナウイルス感染症対策と独り暮らしの高齢者の感染が疑われる場合の対応について 2. 脱乳児に対する富士市の対応について
小池 智明	1. 学校給食の維持と公費化について
望月 徹	1. 富士市電子プレミアム付商品券 全てのの人に喜んでもらえる施策を 2. アライグマ、ハクビシン、アナグマ、イノシシ、鹿等、野生動物駆除対策の促進を
高橋 正典	1. 富士市消防団員の募集について 2. 市内の小中学校給食におけるパン、米飯の製造・配送停止について
笠井 浩	1. 富士川の河川環境調査について 2. 東京オリンピック・パラリンピックに向けた準備について
荻田 文仁	1. 千人塚古墳保存活用計画策定後の須須古墳群の拠点整備と活用について 2. 東部土地改良区内の幹線道路整備推進と活用について
藤田 晋哉	1. 子供たちの命を守るため、ヒトパピローマウイルスワクチン予防接種の積極的な情報提供等について
米山 享範	1. 富士・愛鷹山麓地域における鳥獣被害防止の抜本的対策について 2. デジタル化の進展に伴う行政手続等における押印廃止と市民生活の変化について
井出 晴美	1. コロナ禍における避難所運営の在り方について
海野 庄三	1. まちづくりの最上位計画である第六次富士市総合計画の策定と、進行中の長期計画である30年構想の整合性について
川窪 吉男	1. 地震災害時の避難所の耐震について 2. 災害や水難事故から命を守るために 3. 心臓蘇生法の普及について
下田 良秀	1. 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた上での選挙管理について
小池 義治	1. 結婚支援事業が少子化対策推進費として支出されている問題 2. ふじさんめっせを新しいワークスタイル推進の拠点として活用してはどうか
杉山 諭	1. デジタル変革における押印の廃止及び書類の電子化について 2. コロナ禍における投票所の感染症対策と期日前投票所の活用について
小沢 映子	1. 犯罪被害者等支援条例制定の必要性について
山下いつみ	1. 耕作放棄地の再生・利用に花畑を造り養蜂を行うお花畑プロジェクトを導入しては 2. 女性のキャリア形成と就業支援について 3. サイクルロードコースで地域活性化を
鈴木 幸司	2. 学校給食について 3. 今後の生涯学習推進会の活動について
佐野 智昭	1. ウイズコロナ・アフターコロナ時代における自立的・持続可能なコミュニティづくりに向けて
笹川 朝子	1. PCR検査の拡充について

再質問と要望
 次回、このような事業の際、電子カードと紙券を併用しても事務経費が多額にならないようである。

このような発想も含め、最初から電子カードだけという考えがなく、併用について今から研究・検討をされておくことが市民満足度向上に繋がると考えます。

この事業の評価は、富士ペイが事業終了後ビッグデータとして帰ってくるか、商店街の活性化など分析資料に活用されるかにかかっていると考えます。

消費動向などの結果報告をしていただきたい。

2020年12月6日 富士ニュースより

経済対策に一定の効果 市電子プレミアム付商品券事業

小長井義正市長は、富士市電子プレミアム付商品券事業について、「コロナ禍の経済対策として一定の効果を見せている」との認識を示した。一方、対面のみの販売だったことから、販売開始当初は、非常に混雑したことを踏まえ、仮に同事業を再度実施する必要がある場合は、オンラインによる発行も検討し、対応していくとした。4日、市議会11月定例会で望月徹議員(深の念)の質問に答えた。

同事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で経済が停滞している中、市民における消費喚起やキャッシュレス社会への対応を進めることを目的に、全市民を対象に実施。販売総数10万5千枚のうち、11月20日の販売終了時点で8万8千5百66枚が購入された。加盟店は同日25日時点で86店舗となった。

望月氏から市民の反応について問われた小長井市長は、県内初の電子プレミアム付商品券であったので、販売当初は市民および事業者から追加購入したいと問い合わせが多かったと紹介。「事業の導入を促すための説明に、市民からの声が多かった」と紹介。「事業の導入を促すための説明に、市民からの声が多かった」と紹介。「事業の導入を促すための説明に、市民からの声が多かった」と紹介。

同事業を再度実施する必要がある場合には、電子決済による利便性の高さから追加購入したいと問い合わせが多かったと紹介。「事業の導入を促すための説明に、市民からの声が多かった」と紹介。「事業の導入を促すための説明に、市民からの声が多かった」と紹介。